

高校生を対象とした公開科学イベント

遺伝子研究の最前線～個体の運命を決定する仕組みの謎に迫る～



● 主催・共催

主催:文部科学省 科学研究費助成事業 学術変革領域(A)「細胞運命コード」

共催:自然科学研究機構 基礎生物学研究所、愛知県岡崎高等学校

● 期日

令和7年7月23日(水)

● 場所

自然科学研究機構 岡崎コンファレンスセンター

● 参加者【計70名】

岡崎高校関係者 32名(生徒29名・教員3名)

領域関係者 9名

その他高校関係者 29名(安城:生徒11・教員1、春日井:生徒4・教員2、豊田西:生徒5、明和:生徒1、
国府:教員1、半田農業:教員1、愛知総合工科:教員1、山脇学園 生徒1・教員1)

● 演題・講師

①「オスとメスはどう決まる？ 性分化と代謝の最前線」

立花誠 教授(大阪大学・大学院生命機能研究科)

②「手足の再生が現実！？ 有尾両生類と再生研究の最前線」

鈴木賢一 特任准教授(基礎生物学研究所)

③「遺伝子のスイッチが親から子に？ 酵母と配偶子研究の最前線」

林亜紀 特任助教(基礎生物学研究所)

④「自分の目で見て納得？ ゲノム活性化とイメージングの最前線」

木村宏 教授(東京科学大学)

⑤ 質問コーナー「直接聞いてみよう、研究者のリアル？」